「中之島と御堂筋で都心のまちづくりを考える」展

■ 社会環境の変化に伴い、まちづくりの担い手にも変化の兆しが現れています。これまでは土地所有者の意向を中心に、街は作られ、またデザインされてきました。最近ではそれに加え、「住民」、「NPO」、「企業」などの多様な担い手が様々な形でかかわるようになってきており、特に住宅地では住民参加によるまちづくりが根付いています。

■ その都市を代表する場所である都心は、より多くの担い手がかかわる可能性がある場所です。しかし実際には、みんなの場所であるがために、かえって誰も責任ある当事者となっていない場所なのではないでしょうか。都心には住んでいる人が少ないことも関係しているでしょう。

「中之島公園」はもちろん市民のための場所ですが、ではどんな公園であるべきかを考えるのは誰なのでしょうか？

「御堂筋」は大阪を代表するメインストリートですが、沿道企業だけがどんな通りであるべきかを考えればよいのでしょうか？

■ 私たち都市環境デザイン会議では、大阪の代表的な都心エリアである「中之島」と「御堂筋」を取り上げ、多様な立場でまちづくりを担っている方々に、現在の活動状況、まちに対する思いなどについてお話を伺いました。

「行政の役割」とは？　「組織･企業の役割」とは？　「個人やユーザーの役割」とは？

……都心のまちづくりの担い手について、あなたはどう思われますか？

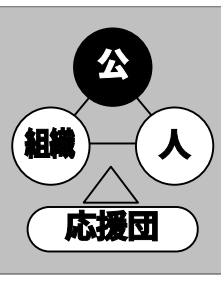
都市環境デザイン会議は、我が国の都市環境デザインを取り巻く諸問題を解決し、よりよい都市環境を形成していくために、都市環境デザインに係わる多様な分野や立場の人々の拠り所となる組織として１９９１年に設立され、以来、研究・提言・情報発信・人材育成などの事業をおこなっています。

都市環境デザイン会議・関西ブロック

中之島での実験イベントを主導

国土交通省近畿運輸局

企画振興部企画課



■ 舟運の活用など実現できそうなアイデアをとにかく実行！！今後の水辺空間の整備や中之島公園の整備へのヒントを探ろうとしている

■ 行政担当者が当事者意識を強く高く持って旗を振り、守備範囲を超えた活動に挑んでいる

中之島ローズポートのオープニング

中之島ばら園に設けられた舟屋

目標

- 中之島は**水の都大阪を体験**できる大切な場所
- 川にはいつも**多くの船が行き交い**、気軽に乗れる場所
- **外国人**に対しても訴求力のある**観光の名所**へ

活動内容

○新駅の整備を核とした周辺のまちづくりを検討

・舟運の活用など短期的なソフト施策
・水辺空間の整備、中之島公園の整備、島内交通システムの構築など鉄道、駅の整備を核とした中期的なまちづくりの推進

○仮設桟橋と舟屋の設置

・協議会のアイデアを一定期間に集中的に実施して、その効果を検証する社会実験イベント「中之島物語」の実施
・水上バス企画船、水上タクシーなどの就航
・中之島１ｄａｙチケットの発行
・多言語（日・英・韓）情報中之島マップ発行

活動の課題

・中之島の特色である川を活かすツールがない
・実験イベントは熱意のある人の協力で成立しているが、熱意にだけ頼っていては継続していくことが難しい。
・最終的には実際に事業をする人の思いが大切
・自治体が中之島全体の将来の青写真を描き示す必要がある